令和2年1月号

よさこいクラブ 高知 第203号

発行者：高知県老人クラブ連合会　高知市朝倉戊375-1　電話（088）844-9154
ホームページ：http://www.yosakoiroc.net

元気ハツラツ&はちきん大会　熱の入った芸能発表に盛大な拍手

12月3日に高知市春野文化ホールピアステージにて開催し、観客約344名が参加しました。

11老連による芸能発表やキラリと光る活動発表、プロの大道芸などの発表がありました。

会長あいさつ

高知県老人クラブ連合会 会長　鈴木 彬夫

国内外とも多事多難の毎日で、令和となった昨年の５月１日が遠い昔に感じられます。

令和は beautiful harmony と表現されていますが、世の中は想いとは違った方向に動いているようです。

平成の時代は 30 年と４ヶ月となりますが、我々老人クラブにとっては、最後の 5 年間で会員増強 100 万人を掲げて活動しました。

結果は山頂到達ではなく、海底深く沈んでしまいました。高知県も全く同じ結果になってしまいました。

日本人は言葉にいろいろのニュアンスを込めて使い分けをします。「ご破算で願いましては」、「水に流そう」、「心機一転」、これらの言葉には一つには済んだことをあれこれ言っても仕方がない、きれいさっぱり水に流して、次を目指して頑張ろうという意味が込められていますが、反面、これまでの「経験を生かす」姿勢の欠落に繋がります。

名著「失敗の本質」は日本軍の敗戦の本質がどこにあるのかを探求したものでした。各戦線での敗北を、彼らは良く敢闘したから、今更傷口を広げるような責任（原因）の追求はよそうという姿勢にもあったと断じています。戦線での敗北の結果を「水に流して」しまいました。

令和の時代に応えることのできる老人クラブ活動を創り上げるには、平成の老人クラブ活動をしっかりと、総括・反省して令和に繋ぐ、そんな姿勢が無いとかつての日本軍の轍を踏むことになるのではないでしょうか。

100万人会員増強運動

５年間（平成 26～30 年度）で 146 クラブ減、会員 6,200 人の減少

平成 26 年度から５ヵ年間取り組んできました「全国 100 万人会員増強運動」は平成 30 年度で終了しました。

全国で、運動開始時と比較して 105 万人の会員減少という残念な結果となりました。高知県老連も 6,272 人減、146 クラブが減少してしまいました。

しかしながら、運動開始時より会員数が増えた市町村もあり、初年度には前年度に対する増減数が 1,485 人の減少であったのに対し、5 年次増減数は 1,015 人の減少で、減少数が小さくなりました。

また、クラブの新設や復活もありました。

このままでは老人クラブが消滅してしまうかもしれないという大変厳しい状況であることを意識し、これからも会員増に努めてまいりましょう！

高知県全体の実績

＊平成 26 年４月　861 クラブ　32,470 人
＊平成 27 年４月　823 クラブ　30,985 人
＊平成 28 年４月　791 クラブ　29,843 人
＊平成 29 年４月　759 クラブ　28,723 人
＊平成 30 年４月　735 クラブ　27,213 人
＊平成 31 年４月　715 クラブ　26,198 人

市町村老連の結果

５年間で会員数が増加した老連・・４老連
室戸市･･･クラブ数＋2 クラブ、会員数＋163 人
土佐市･･･クラブ数△1 クラブ、会員数＋40 人
土佐清水市･･･クラブ数＋1 クラブ、会員数＋52 人
日高村･･･クラブ数 ±0 クラブ、会員数＋1 人

中国・四国ブロック　老人クラブリーダー研修会開催　本県にて開催

７月４日～５日に高知市の三翠園で「中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会」が開催され９県、２政令指定都市から 327 名が集いました。

第１日目は開会セレモニーの後、全国老人クラブ連合会の岡本業務部長から「５か年の会員増強運動と今後の方向」について基調報告を受けました。

続いて、事例発表・討議に移り、第１部「会員増強の推進」について、第２部「地域支え合い活動の推進」について、それぞれ３名から事例発表があり、参加者は熱心に聞き入り、討議も活発に行われました。

本県の土居 啓之副会長、山本 幸子副会長が座長を務めました。

第２日目は、昨日に続いて事例発表・討議の第３部「健康づくり・介護予防活動の推進」についてが行われ、川村 渡副会長が座長を務めました。

続いて、真言宗豊山派四国霊場第三十番奥之院安樂寺住職、小角 隆幸氏による講演「お四国遍路開祖“衛門三郎物語”」がありました。

住職の拍子木を使っての迫力があり、ユーモアある語り口に参加者は魅了され、熱心に聞き入っていました。

来年度は岡山県で開催されます。

天候が心配される中での開催でしたが、予報に反し、天気に恵まれ事故も無く無事終了することができました。

関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。

開会セレモニーには龍馬も登場

事例発表

事例発表後の討議

会場の様子

講演　小角　隆幸　住職

第59回高知県老人クラブ大会

第 59 回高知県老人クラブ大会が 11 月 8 日に県立ふくし交流プラザで開催されました。

250 名余りの会員が県内各地から集まり、来賓として福留 利也高知県地域福祉部長、高知県社会福祉協議会田村 壮児会長をお迎えし、御祝辞をいただきました。

大会では式典のあと、アトラクションとして、昨年、香南市老連に発足したばかりの「混声合唱団・令和」のみなさんによるコーラスが披露され、和やかな雰囲気に包まれました。

続いて、高知大学医学部附属病院口腔外科学講座講師の笹部 衣里先生から「口の病気と全身の病気との関係～健口で長生きしよう～」と題して講演があり、楽しく健口の大切さを教えていただきました。

本大会で受賞された団体・個人の方々は次のとおりです。＜敬称略＞

高知県知事表彰

行当光寿会（室戸市）
西山長寿会（南国市）
本郷中部老人クラブ（日高村）

県老連会長表彰

◎役員功績（31名）……

村川　久敏（室 戸 市）　比江森　敬史（南国市）
廣瀬　興亜（土 佐 市）　嶋﨑　律雄（須 崎 市）
堀部　孝久（宿 毛 市）　大谷　修二（香 南 市）
田内　　高（香 南 市）　入交　寿賀子（奈半利町）
岩城　佳子（馬 路 村）　秋山　正治（大 豊 町）
杉本　康子（大 豊 町）　筒井　君子（土 佐 町）
川井　行稔（土 佐 町）　石川　義孝（土 佐 町）
樋口　義博（い の 町）　尾﨑　治生（い の 町）
本多　公二（い の 町）　門脇　高茂（い の 町）
田村　大陸（仁淀川町）　山本　里枝（越 知 町）
中越　順市（梼 原 町）　沖田　留晴（梼 原 町）
岡田　安恵（梼 原 町）　吉村　正三（梼 原 町）
高野　泰雄（日 高 村）　岡村　光子（四万十町）
戸田　重光（四万十町）　山田　隆三（四万十町）
佐治　光廣（四万十町）　篠田　慎子（黒 潮 町）
井上　愛子（黒 潮 町）

◎会員功績（11名）……

谷脇　タヅ子（室戸市）　竹崎　正枝（室 戸 市）
仲田　惠子（室 戸 市）　東野　淑子（南 国 市）
笹村　幸馬（須 崎 市）　谷本　福美（宿 毛 市）
水田　　勇（四万十市）　穂崎　豊次（四万十市）
永森　利博（大 豊 町）　明神　千壽惠（梼原町）
宮地　春樹（黒 潮 町）

◎優良老人クラブ（4クラブ）……

いきいきクラブ平田（宿毛市）
竹屋敷寿クラブ（四万十市）
野市第 2 鶴亀会（香南市）
大野クラブ（田野町）

◎優良市町村老連（1老連）……

いの町老人クラブ連合会

◎会員増強クラブ（1クラブ）……

北川老人クラブ寿会（津野町）

◎特別功労者（3名）……

島﨑　義幸（香南市）　黒川　武志（仁淀川町）
生駒　進　（黒潮町）

全老連活動賞

全国老人クラブ連合会が実施する「活動賞」も併せて伝達表彰されました。

【健康づくり活動】部門
・宿毛市老人クラブ連合会
・いの町老人クラブ連合会女性部

【ボランティア活動】部門
・佐川町老人クラブ連合会

【100万人会員増強運動特別賞】
・羽根寿会（室戸市）
・行当光寿会（室戸市）

第48回全国老人クラブ大会

第 48 回全国老人クラブ大会が 11 月 26 日～ 27 日に埼玉県さいたま市で開催され、全国から 2,394 名の会員が集いました。

高知県からは受賞者をはじめ 14 名が参加し全国の活動を研修し、仲間との交流を深めて参りました。

全老連会長表彰を授与された方は以下のとおりです。

育成功労表彰

所谷　茂　（宿毛市）
矢田　泰蔵（土佐町）

優良老人クラブ表彰

羽根寿会（室戸市）

優良老人クラブ連合会表彰

中土佐町老人クラブ連合会

100万人会員増強運動表彰

室戸市老人クラブ連合会

集え！競おう！ろうれんピック2019

大会成績（優勝のみ掲載）

■**東部会場 10 月 10 日（水）　芸西村憩ヶ丘運動公園**

グラウンド・ゴルフ　岡田　忠雄（室 戸 市）
ワナゲ　ひまわり（安 芸 市）
スポーツウェルネス吹矢　矢野　佳宏（室 戸 市）
フロッカー　黒潮会はまゆう（室 戸 市）
シャフルボード　なはりブラザーズ（奈半利町）
ダーツ　えらいて（馬 路 村）

■**西部会場 10 月 31 日（木）　宿毛市総合運動公園**

グラウンド・ゴルフ　矢野川　卓司（土佐清水市）
ペタンク　斧積 A（土佐清水市）
ワナゲ　大田　むつ子（宿 毛 市）
フロッカー　マシュマロチーム（宿 毛 市）
シャフルボード　黒潮チーム（黒 潮 町）

■**中部会場 11 月 22 日（金）　県立障害者スポーツセンター 県立春野総合運動公園**

グラウンド・ゴルフ　楠瀬　慶子（高 知 市）
フロッカー　おとめ（高 知 市）
シャフルボード　西部千寿会 C（南 国 市）
ワナゲ　里改田 A（南 国 市）
ダーツ　佐川町 A（佐 川 町）
スポーツウェルネス吹矢　宇都宮　登志（津 野 町）
ペタンクは降雨により中止

ろうれん元気大賞

ろうれんピック参加者の中から最高齢の選手が表彰されました。

東 部

男性　島田　福美（北 川 村）96 歳
女性　南　弥久（奈半利町）95 歳

西 部

男性　浜田　幸男（黒 潮 町）93 歳
女性　川田　玉恵（宿 毛 市）97 歳

中 部

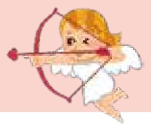
男性　吉岡　齋（須 崎 市）95 歳
女性　増井　久子（香 美 市）89 歳

中部会場　ワナゲ競技

東部会場　グラウンド・ゴルフ入賞者

老人クラブで「世話焼き」を

高知市老人クラブ連合会
旭ブロック



　老人クラブで「世話焼き」をして、若い人たちの結婚をお手伝いしようと高知市の旭ブロックでは「婚活パーティー」を開催しました。

　パーティーを企画した会長の中岡恒子さんは高知県が取り組んでいる婚活サポーターの一人です。

　会場の高知市旭町の木村会館には雨の中、参加者の男性７人、女性１０人の１７名が集まりました。

　参加者には体験を通して交流を深めてもらおうと、紙ヒコーキを助け合って折り、飛行距離を競うことや、輪投げにも挑戦してもらいました。お弁当を一緒に食べ、高知市老連の濱田局長のギターに合わせて歌い、和やかにパーティーは進みました。

　会員達は若者たちに良い相手が見つかるようにと一生懸命サポート役に徹していました。

　中岡会長は今回のパーティーが出席者に評判が良かったので、これからも体験を通した楽しい出会いの場を企画していきたいと意気込んでおられました。

2019亥年　出合いきっかけ応援
体験を通した楽しい集い
旭　木村会館　3月10日(日)

パートナーをお探しの独身者の皆様、作ったりゲームを楽しんだりと体験を通して、素敵なパートナーを見つけませんか？
ご参加をお待ちしながらご案内しております。

時間　11:00～15:30
場所　高知市木村会館
（高知市旭町３丁目121　Tel. 872-0374）
会費　1,000円（昼食お弁当、飲み物）
参加対象　結婚を希望する独身者（男女）
申し込み
問合せ先　高知県婚活サポーター28
中岡恒子（高知市老人クラブ連合会）
088-844-3857（Tel&ファクス）・090-4781-5971
申し込み締切　2019年３月６日（水）
当日の流れ

ファクス申し込み

「謎の扉」を開けると・・・

日高村老人クラブ連合会

　夏休みの１日。日高村老連ではこどもとの交流事業として「もへい探検隊」を日高村社会福祉センターで行いました。

　村の伝説の忍者「日下茂平」に倣っての修行が「謎の扉」の向こうに。修行は全部で５つ。

　それぞれの修行の場では会員達が修行を指導し、見守りました。

　「修行」は日高村に関する問題に答える「謎解き」や手裏剣を飛ばす「手裏剣道場」など。

　こども達は村内の小学校４年生から６年生までの10名です。

　会員達はこの事業の企画から準備、運営にと大活躍。当日も20名あまりの若手会員がスタッフとして運営に携わりました。

　サロンに来ていた高齢者と一緒にワナゲやダーツも楽しみ、お昼には会員が作ったおいしい夏野菜カレーとフルーツポンチをみんなでいただきました。

　無事に５つの修行を終えたこども達には「謎の扉」免許皆伝の証が「日下茂平」から手渡されました。

　こども達の「修行」のお手伝いで会員達は元気をもらい、充実した１日となったようです。

旅の思い出　8日間8千キロ、一人旅

高知市老人クラブ連合会
副会長　藤岡　省次

　三年前、佐渡島と北海道の利尻・礼文島まで車で旅をした。８千キロの一人旅だ。

　９月の台風が近づく中、高知を出発。まずは佐渡島へ。佐渡島ではトキの飼育場と佐渡金山を見学。

　運よく間近でトキを見ることができ、関係者に稀なことだと言われた。

　トキはえさのドジョウをついばんでいたが、飲み込む前に逃げられる。下手だなあと思いながら見たことだ。

　北海道に渡り、稚内を目指して北上中に台風くずれの低気圧に追いつかれ、強風と大雨の中、サービスエリアに避難し、32時間車の中で天気の回復を待った。

　何とか稚内に辿り着き、車を置いて船で礼文島に上陸。

　途中散策しながら見た桃岩は、私にはオッパイ岩にしか見えなかった。礼文観光を終えて、次は利尻島へ。

　利尻は上天気で、利尻富士を滅多にないと言われる程きれいに見ることができた。

　礼文島の生ウニ、利尻島のホタテは忘れることができない美味しさだった。

　函館から青森県の大間に渡り、今度は島根県の隠岐の島と長崎県の壱岐の島を目指したが、青森で腰痛に見舞われ、石川県の能登半島を一周したところで予定を早め、二つの島は来年行くことにして帰路に着いた。

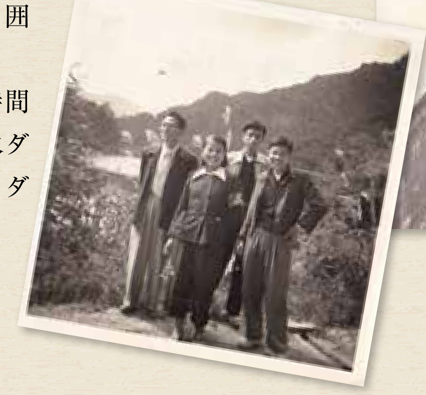
利尻富士をバックに筆者

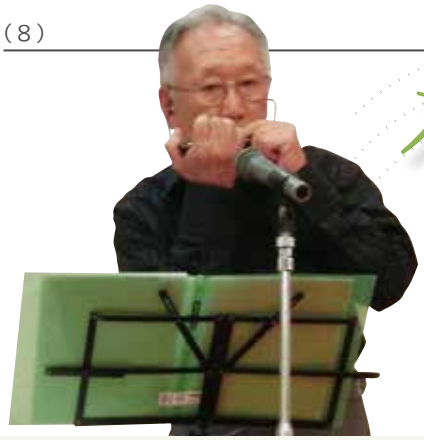
昭和の思い出

いの町老人クラブ連合会　波川親和会 会長　安部　庄祐

　昭和28年に友人とバスで旧本川村（現いの町本川）の長沢ダムに遊びに行った時の写真です。このダムは昭和24年に完成したものです。バスの車掌（女性）を囲んで記念写真を撮りました。(左)

　当時は高知から本川までバスで４時間もかかりました。長沢ダム（右）は揚水ダムで下に長沢発電所があります。このダムも今年で71歳となります。





私のグッドタイム

「７０の手習い」でハーモニカを始め、充実した日々を過ごされている南国市の濵田洋さんをご紹介します。

南国市老人クラブ連合会 副会長

濵田　洋さん

濵田さんがハーモニカと出会ったのは 73 歳の時でした。75 歳の退職を控え、退職後にできることを考えていた時に農協の婦人部にハーモニカ教室があることを知り、その仲間に黒一点で入れてもらいました。

学生時代にはクラリネット、社会人でサキソフォンと楽器に親しんできたこともあり、手軽に持ち運びも出来るし、ボケ防止にもなるだろうと気軽にハーモニカに取り組んだところ、その奥深さに魅了されました。

今では、ボランティアで毎月 6 施設に演奏に行くほどの腕前に。

施設や病院で演奏すると、最初は関心を示さなかった人が、演奏が進むとだんだんと調子に乗ってハーモニカに合わせて歌い、帰りには「よかったよ。また来てね。」と声をかけてくれたり、中には演奏を始めたら涙を流す人がいたりで、改めて音楽の持つ力に感動し演奏して良かったと喜びを感じておられます。

ハーモニカに出会えたお陰でボランティアができ、人との出会いで元気をもらい、視野が広が ったそうです。現在 85 歳と思えない程お顔の色艶がよく、イキイキとされている濵田さんの様子から充実した日々を過ごされていることがよくわかります。

これからもハーモニカの素敵な音色をたくさんの人に届けてください。

60周年記念会員章

このたび、全国老人クラブ連合会が創立 60 周年を記念して新たに会員章を作成しました。

直径 17mm

一口　1,000円

期間限定　2019年～2022年

お申込み・お問い合わせ

高知県老人クラブ連合会
電話　088-844-9154